

## 平成30年度 松本保育園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

### 1. 園の教育目標

- 「あいさつ」・・・あいさつや けじめのある行動ができる子
- 「がんばり」・・・あきらめずに 自分のことが 自分でできる子
- 「なかよし」・・・友だちの気持ちが 考えられる子

### 2. 本年度の重点目標

- (1) 入園から卒園までの保育園生活を通して、基本的な生活習慣を身につけます。
- (2) お友だちや先生と元気なあいさつ活動
- (3) 歩け！歩け！活動 ～身体づくりは心づくり～
- (4) 地域との触れ合い活動・園外活動

### 3. 自己評価

- A…十分達成されている                      B…達成されている  
 C…取り組んでいるが、成果が十分でない    D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	B
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	C
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	C

### 4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・教育目標、重点目標ともに、ずっとやってきていることなので身につけてきていると感じる。
- ・自己評価の結果は先生たちの実際の姿に対して過小評価となっていると感じた。先生たちは実際にはもっとできていると感じる。もっとやれるだろうという先生の意識、向上心の現れだろうと感じた。
- ・教育環境整備においては 保育環境の工夫はなされているが、園全体の施設環境の老朽化が気になるのと意見があった。

### 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・幼児の実態・信学会の基本理念・保育士や親の願い・法に示された教育・保育の目的などに基づき、園目標を設定し、その具現化のために職員の意識統一を図り、日々の活動を積み重ねてきた。
- ・昨年度の反省より、今年度は特に 重点目標(3)「歩け！歩け！活動 ～身体づくりは心づくり～」について、力を入れて取り組んできた。例年以上に散歩や徒歩で行く園外保育を意識的に取り入れ、沢山歩くと共に、自然に触れる機会を設けた。また、学年ごと子どもと楽しみたい戸外遊び（運動遊び・集団あそび）を決め、子ども達が楽しんで体を動かすことができるようにしてきた。登園するとすぐに「〇〇遊びしよう」と保育者や友だちを誘う子どもが増えてきている。しかし、子どもの個人差もあり、来年度も継続していく必要があると感じている。
- ・個々の子どもの成長の為にも、全体への指導を充実させると共に個に応じた指導をいっそう充実させていくことが必要と思われる。そのためにも、現在行っている 園児の個人記録を大切に、職員の子どもを見る目、子どもの成長を感じられる心を育てていく必要があると感じる。